

◆◆ 意見交換会 ◆◆

意見交換会はパネルディスカッション形式で行われ、当協議会の椎名会長がコーディネーターを務め、基調講演及び事例発表会で発表いただいた皆さんにはパネリストとして参加いただきました。



コーディネーター

せっかくの機会ですので、今日発表していただいた各団体に対して、参加いただいている皆さんから御意見・御質問等があればお聞きしたいと思います。

Q 「ハワイアンフェスティバルは参加団体が増えたとおっしゃっていました。参加者が増えると質が低下するおそれがあると思いますがいかがでしょうか」

大森さん
(一社) 渋川
伊香保温泉観光協会

フラの教室は全国に沢山あり、それぞれが競い合っていますので、年々レベルが上がっています。私は毎年ハワイで本場の全米大会を見ているのですが、踊りの質は劣らないものになっていると思います。

Q 「渋川広域ものづくり協議会の活動には一般企業も参加しているとのことですが、一般企業へはどのように呼びかけたのですか」

岸さん
NPO 法人渋川
広域ものづくり協議会

一緒に活動をする仲間に地元企業のトップの方がいたというのが我々の恵まれていた点です。その方々に地元企業の皆さんに声をかけていただきました。

コーディネーター

今日は行政の方も参加しています。地域づくりのキーワードとして「行政との協働」ということが挙げられると思いますが、行政との関わりについて、発表者の皆さんから少しずつお話をいただければと思います。

下田さん
渋川広域まちづくり
ネットワーク協議会

私は基本的には、地域は地域の人たちがつくることが基本だと思っています。最近「行政がやってくれない」ということをよく聞きますが、そうではなく、「自分達の地域は自分達でつくりたい、守りたい」ということが原点だと思っています。その手助けを行政にして頂くのだと思います。主は地域の皆さんです。皆さんが動けば、もの凄く立派な地域づくりが出来るのではないかと考えています。

塩谷さん
北橋地区
竹の里づくり協議会

私たちは先輩のグループから知恵をいただきながら活動しています。同じような趣旨で活動をする皆さんとの広域的な連携が非常に大事だと思っています。資金面ももちろんですが、そのような活動に対して行政に支援をいただければ、より一層前進出来ると思っています。

コーディネーター

大事なことは地域の伝統や文化を次の世代の子ども達にどのように伝えていくのかだと思います。今日の事例発表の中でも、子ども達との関わりについての話がありましたが、子ども達の感性をどのように育てていくか、それがどう地域づくりに繋がっていくかをお話いただければと思います。

大森さん
(一社) 渋川
伊香保温泉観光協会

小さな時からその地域を愛する気持ちを育むことが大切だと思います。伊香保には石段ひな祭りというイベントがあります。伊香保の小学校 1 年生になれば参加出来ないイベントとすることで、伊香保で生まれ育った子ども達が誇りが持てるような仕掛けにしています。

星野さん
宮田はたるの
里をつくる会

私たちは子ども達と一緒にゴミ拾い活動をしています。そして、会報誌の原稿の作成を小中学生にお願いしていますが、必ず「環境を良くしなくてはいけない」と書いてくれます。一緒に活動することが本当に大切なのだと思います。

塩谷さん
北橋地区
竹の里づくり協議会

子ども達のふるさとを想う心を育てるには豊かな原体験が必要だと思います。そのためには、ひとつの事業だけで考えるのではなく、地域全体を総合的に考える必要があると思います。

ここには掲載できませんでしたが、この他にも皆様から様々な発言をいただき、活発な意見交換会となりました。御協力いただきありがとうございました。



交流会の様子

